こんな時だから恩返し

京田辺「さんさん山城」

電解次亜水を無料で提供

コロナに負けない　縫製マスク販売も

コロナから身を守る電解次亜水を酌んでください

京田辺市興戸の田辺警察署隣りにある障害者就労支援事業所「さんさん山城」（新免修施設長、藤永実管理者）では、新型コロナウイルスの感染防止に向けた自家製マスクの販売を今月初めにスタートし、口コミで人気を広げている。利用者32人のうち、元々の縫製係のほかにもマスク製造に力を注ぎ、社会的需要の一部に対応できるよう努めている。また、日替わりワンコインランチ（現在は自粛中）が好評を呼ぶ中、調理の際に用いる電解次亜水装置を使って精製した消毒液の無料配布も始めた。

聴覚障害を持つ人の就労を支援する場として2011年4月に開所した社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会運営の就労継続支援B型山城就労支援事業所「さんさん山城」。

現在は精神、知的障害などを含む利用者が生育、収穫した京田辺特産のエビイモを使ったコロッケ、カレーなどを施設にあるコミュニティカフェのランチメニューで提供するのをはじめ、ワンコインバル、地元イベントなどでも積極アピールし、人気を集める。また、開設当初から障害者が農業を通じて社会に参画する「農福連携」を進め、市が田辺公園の拠点整備で掲げる取り組みの先駆けとなっている。

昨年末に授与式があった内閣官房と農水省「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定では、福祉事業所として全国で唯一の選定を受け、「地域活性化に取り組む優良事例」の一つとして国から高い評価を得た。さらに、農水省が制定した新たなJAS規格となる「ノウフクJAS」第1号事業者の認証を受け、田辺ナス、京都エビイモ、万願寺トウガラシ、宇治抹茶、濃茶大福、濃茶クッキーなどの9商品に、障害者が主体的に携わり生産された農作物、加工食品を示すマークを表示販売できるようになり、アピールを強める。

しかし、人にも事業にも影響を及ぼす新型コロナウイルス感染症の災禍は同事業所にも影を落とし、売り上げはもとより、利用者、スタッフの活動の軸にもなるランチは感染拡大防止のため営業自粛。これまで食品加工などを頑張っていた利用者も縫製を担うようになり、メンバーを増やした縫製係が二重ガーゼを生地にしたマスクの制作に励んでいる。

4月初頭から縫製マスクを並べると、なかなか手に入りづらい状況が続く市民らが足を運び、製作したものは順次、売れていった。大人・子供用を分け、大人用のサイズも数種類を用意。税込み300円で販売している。生地は馴染みの店で仕入れられるものの、ゴムは供給不足で編み物で使う紐を代用する状況が続いている。

また、2年前から導入した装置を使い、電解次亜水（次亜塩素酸ナトリウム水溶液）の無料配布を始めた。食塩水を電気分解して作られる弱アルカリ性の水溶液は、アルコールより殺菌効果が高く、コロナにも有効とされる。食材をはじめ、まな板や包丁、布巾、調理台、シンクといった調理器具一式、テーブル、床、トイレなどの幅広い用途でウイルスを取り除く効果が期待できる。

藤永管理者は「日ごろ、ランチや商品を購入いただいている。お世話になっている方々、にこういう時にお返しができればよい。2㍑のペットボトルを持参ください」と利用を呼び掛ける。

利用者らが縫い上げたマスクもあります

主な交通取締り

▼19日
【宇治署管内】◆午前＝久御山町で各種取締◆午後＝槙島町周辺で各種取締。
【城陽署管内】◆午後＝国道24号で交差点取締。
【田辺署管内】◆午前・午後＝管内一円で駐車違反取締。
▼20日
【宇治署管内】◆午後＝宇治市宇治蓮華で交差点取締◆午後・夜間＝小倉町、伊勢田町周辺で各種取締。
【田辺署管内】◆午前＝京田辺市田辺南田で速度取締

交通事故

17日午前8時

青

きょう・あすの花粉情報

京都府南部

飛散度

あすの天気予報

南部地方　18日17時現在

20日は雨のちくもり

琵琶湖の水位　―― cm　一日午前

宇治川の流量　―― t/秒　一時現在

降水確率　予想気温

きょうの天気予報

南部地方　18日17時現在

19日はくもり時々晴れ

琵琶湖の水位　＋12cm　18日午前

宇治川の流量　183t/秒　6時現在

降水確率　予想気温